

皆さん、おはようございます。

今朝、パソコンを開くと、一日も早い復旧を祈って、全国各地から応援メッセージが届けられていました。ありがたいです。

呉―東広島道路が再開されて、商店の棚にも、パンや牛乳などの食料が置かれ始めました。一方で、多くの道路網は寸断されたまま、呉線も海田市以東は動きません。

被災された皆さん、体調はだいじょうぶですか？

呉三津田高校も、相変わらず断水が続いています。しかし、水が出る地域の方々が、断水地域の方に飲み水や風呂を提供されるなどの助け合いがなされていると聞き、ほっこりしました。

こうした行為は、できるだけ「日常」を回復させてあげたいという思いであり、それを受け止める私たちは、「ふだんどおり」を営むことのできる尊さを知り、人の温かさに触れさせていただく貴重な機会を得たわけです。

このような状況下で、生徒の皆さんにお願いしたいことがあります。

それは、「今」という時の持つ二つの側面に思いを致すということです。つまり、「今」できることを考えると同時に、未来の自分のための「今」を大切にしたいのです。

虫の目と鳥の目を持って、自分にできること、なすべきことに誠意を尽くしましょう。

平成 30 年 7 月 11 日

小路口 真理美